

授業科目(ナンバリング)	博物館経営論 (CB308)			担当教員	小泉 優莉菜		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・ 時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>テーマ：博物館経営の諸課題について 博物館の「経営」とは、会社経営とは異なる意味を持ち合わせている。博物館には、行財政制度、設備・施設、博物館の組織、博物館の職員、博物館評価、博物館倫理、連携事業などを包括する概念として「ミュージアム・マネジメント」があり、博物館を運営するうえでの基盤となっている。本授業では、ミュージアム・マネジメントの観点から博物館の「経営」について講義し、基礎的な知識を涵養することを目的とする。</p>							②①
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	博物館の管理（人事、施設、資料）などについて、専門的な知識を得ることができる。				授業内レポート	35%	
情報収集、 分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決 力	博物館の普及事業とサービスに関心を懐き、文化普及事業として積極的に取り組むことができる。				ワークシート 確認テスト	30% 35%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、授業内レポート 35%、ワークシート 30%、確認テスト 35%の配分で行う。 授業内レポートなどで挙げられた質問へのフィードバックは、随時授業内で行う。							
授 業 の 概 要							
<p>パワーポイントを使用した講義を中心とし、ミュージアム・マネジメントの基礎を体系的に講義する。また、毎回授業時に小レポートを課す。学生証のタッチと、授業内小レポートで出席確認を行う。</p> <p>また、本授業では、博物館経営について自身での課題提起と、課題解決力を養うことを目的とする。そのため、ただ聴講するだけの授業ではなく全3回のグループワークを設け、積極的に自身の疑問点や意見を他者に伝える力を養う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書： 特に指定なし。授業内にプリントを配布。</p> <p>参考書： 第1回講義内で紹介する</p> <p>指定図書：佐々木正峰著『博物館これから』 雄山閣 2009</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>博物館学芸員課程の必修科目であり、博物館概論や博物館展示論、博物館資料保存論などの内容を踏まえて受講してほしい。</p> <p>また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退出は認めない。</p>							
回	テ ー マ	授 業 の 内 容			予 習 ・ 復 習		
1	ガイダンス 博物館経営の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの説明 ・「博物館経営」つまり、ミュージアム・マネジメントや、博物館経営の使命と計画について学ぶ。 *全3回行うグループワークのグループ決めも行う。 			<p>予習：シラバスを十分に確認し、授業に備える。</p> <p>復習：ミュージアム・マネジメントの必要性について確認する。</p>		

2	ミュージアム・マネジメント人材とその養成	ミュージアム・マネジメント人材に求められるスキルや、その養成について理解する。	予習：第一回の授業で学んだミュージアム・マネジメントの体系について確認する。 復習：ミュージアム・マネジメント人材に必要なスキルについて確認する。
3	博物館の運営方針の明確化	博物館経営に関しては、運営方針を明確化し、博物館の使命を全うしていかなければならない。社会の中の博物館について理解する。	予習：社会教育法について、目を通しておく。 復習：博物館の予算編成の仕組みについて、再度確認する。
4	経営の民間競争入札や博物館の業績評価	公的施設の運営に民間の発想を取り入れる事が、必要とされる時代となっている。経営の民間競争入札について学ぶ。	予習：博物館の諸機能について、確認を進める。 復習：授業内で挙げたキーワードについて不明点を明確にし、調べる。
5	Try&Work①	「博物館経営におけるマネジメント」について、ワークシートをもとに、グループワークを行う。	予習・復習：「博物館経営におけるマネジメント」について、自身の中で考えをまとめる。
6	博物館経営の広報や営業	博物館を運営していく中で、集客のための広報や営業にはどのような方法があるのかについて学ぶ。	予習：「ミュージアム・ファンレイジング」というキーワードについて、インターネットなどを活用し事前に調べる。 復習：授業内で挙げたキーワードについて不明点を明確にし、調べる。
7	博物館を支える組織とその連携	博物館経営に関わるミュージアム・ネットワークについて学ぶ。	予習：自身の興味のある博物館の一つ参考とし、「友の会」や「地域連携」「国際交流」について、どのような活動をしているのか調べる。 復習：予習の続きとして、自身の興味のある博物館の活動を確認する。
8	博物館の経営の形態	PFI など、民間の資金や経営ノウハウを博物館経営に活用する方法について理解する。	予習：「PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）」というキーワードについて、インターネットなどを活用し事前に調べる。 復習：授業内で挙げたキーワードについて不明点を明確にし、調べる。
9	博物館経営の課題	博物館の財政問題と、外部資金の導入について学ぶ。	予習：第8回で配布予定の日本博物館協会の「博物館倫理」について、熟読する。 復習：授業を受けたうえで再度、「博物館倫理」について、熟読する。
10	Try&Work②	「現代における博物館経営の課題」について、ワークシートをもとに、グループワークを行う。	予習・復習：「現代における博物館経営の課題」について、自身の中で考えをまとめる。
11	社会における博物館の使命の明確化と博物館経営①	様々なセクターと協同することで、新しい価値の創造を広げることに学ぶ。	予習：博物館がどのような組織との連携を図りながら事業を進めているのか、調べてみる。 復習：授業内で挙げたキーワードについて不明点を明確にし、調べる。
12	社会における博物館の使命の明確化と博物館経営②	研究と展示を総合的に展開することの、意義と重要性について学ぶ。	予習：国立科学博物館の公式HPにアクセスし、どのような活動を展開しているのか確認しておく。 復習：授業内で挙げたキーワードについて不明点を明確にし、調べる。
13	生涯学習の需要や、科学の需要に応える博物館経営	博物館利用者が自発的な学習を進めること、つまり、「利用者のための」博物館経営について学ぶ。	予習：「パーソナル・ミュージアム」の考え方について、インターネットなどを活用し調べておく。 復習：博物館の「科学リテラシー」について再確認する。
14	・子どもへの教育と博物館経営 ・確認テスト	学習体験プログラムを、子どもへの教育に活用するための博物館経営について理解する。	予習：確認テストのためのテスト準備を進める。 復習：博物館と子供への教育について、再度確認する。
15	Try&Work③	「教育と博物館経営」について、ワークシートをもとに、グループワークを行う。	予習・復習：「教育と博物館経営」について、自身の中で考えをまとめる。